

その
3

たまくの福祉を調べる



- 1 第6回川崎市地域福祉実態調査結果
- 2 第6期多摩区地域福祉計画を振り返る

1 第6回川崎市地域福祉実態調査結果

【調査概要】

地域福祉に関するニーズを把握し、本市における地域福祉の向上に資する第7期地域福祉計画策定に向けた基礎資料とすることを目的に、令和4(2022)年度に「地域福祉実態調査」を実施しました。調査の主な結果は次のとおりです。

● 多摩区での実施状況

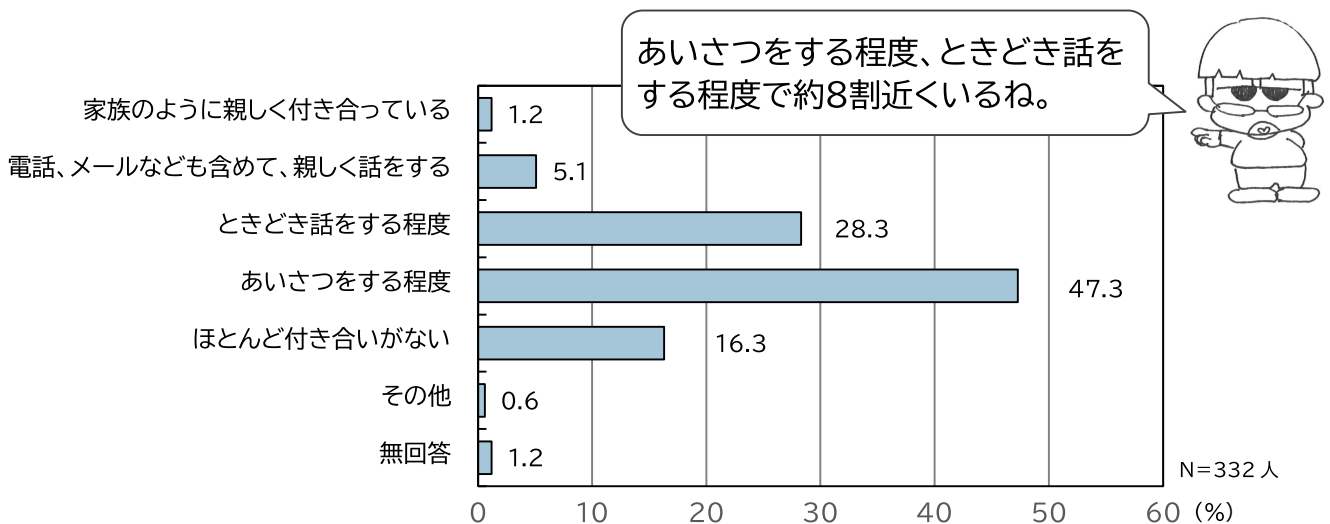
- 対象者 18歳以上の男女1,000人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査時期 令和4(2022)年11月～12月
- 有効回収数 332人(33.2%)



■ 地域のこと

Q1 ご近所の方とは、普段どの程度のお付き合い？

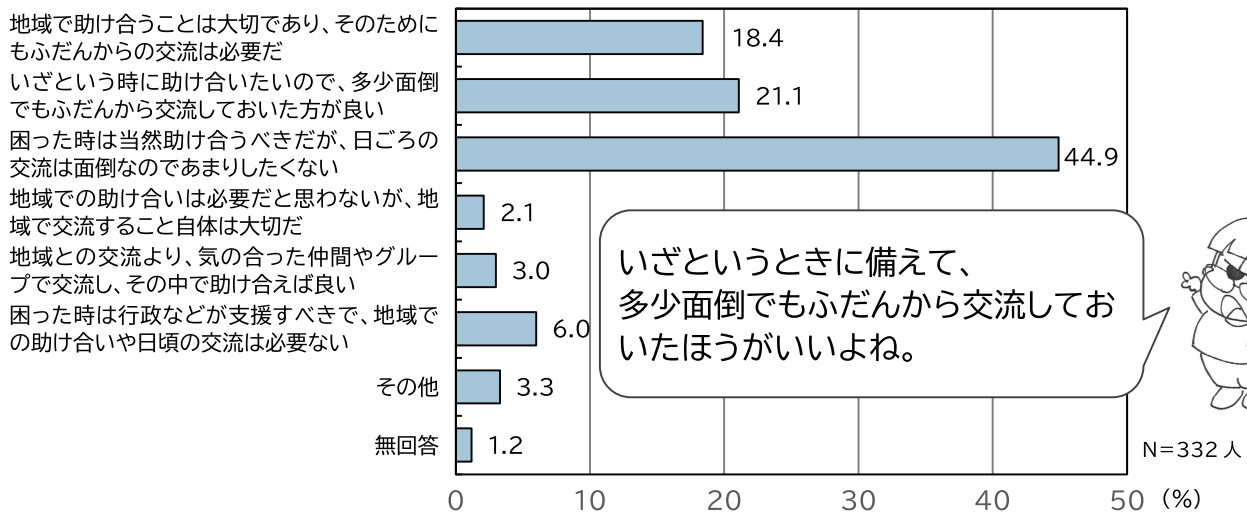
普段ご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか



「あいさつをする程度」が47.3%と約半数、次いで「ときどき話をする程度」が28.3%、「ほとんど付き合いがない」が16.3%と続き、この3つで全体の約9割を占めます。一方で、「電話、メールなども含めて、親しく話をする」が5.1%、「家族のように親しく付き合っている」が1.2%と、この2つを合わせても全体の1割に満たない結果となっています。

Q2 近所や地域住民同士の交流についてどう思っている？

近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか



「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」が44.9%と最も高く、次いで、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」が21.1%となっています。

<参考> 地域でのつながりに対する意識をまとめると……

Q1、Q2、Q4、Q8 で割合の高かった回答からまとめました。

Q2 近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか
 「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」
 ⇒44.9%

「日頃の交流」は？

Q1 普段ご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか

「あいさつをする程度」⇒47.3%、「ときどき話をする程度」⇒28.3%

「困った時」とは？(P73)

Q4 「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか (≡困りそうなこと)

「地域防犯・防災に関する問題」⇒32.5%、「高齢者に関する問題」⇒30.4%

何を「助け合う」？(P75)

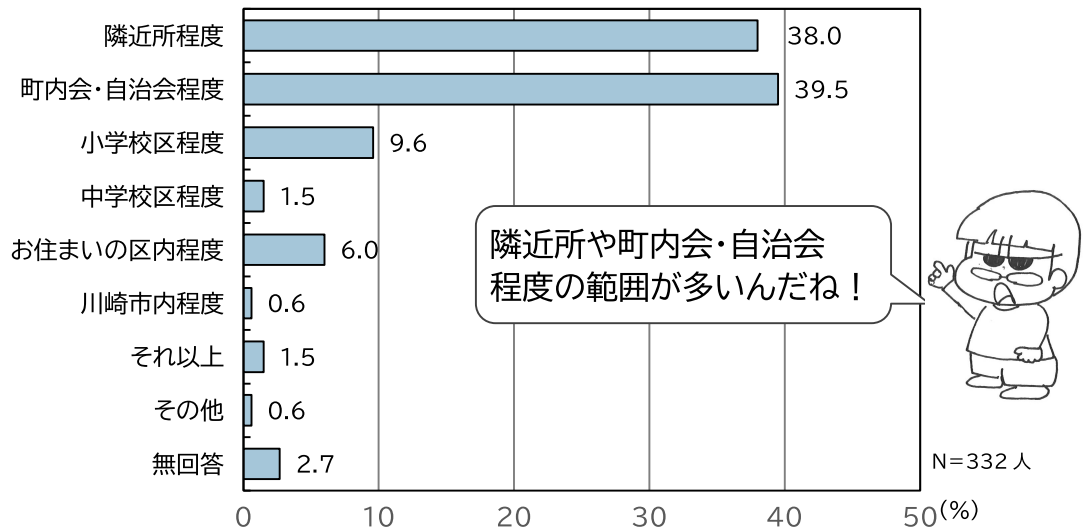
Q8 地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか

「安否確認の見守り・声かけ」⇒47.3%、「災害時の手助け」⇒26.5%

日頃はあいさつ程度の付き合いで、ゆるやかにつながりながら、困っている高齢者の方には見守りや声かけ、災害時にはお互いに手助けしたい。

Q3 助け合いができる地域ってどれくらい？

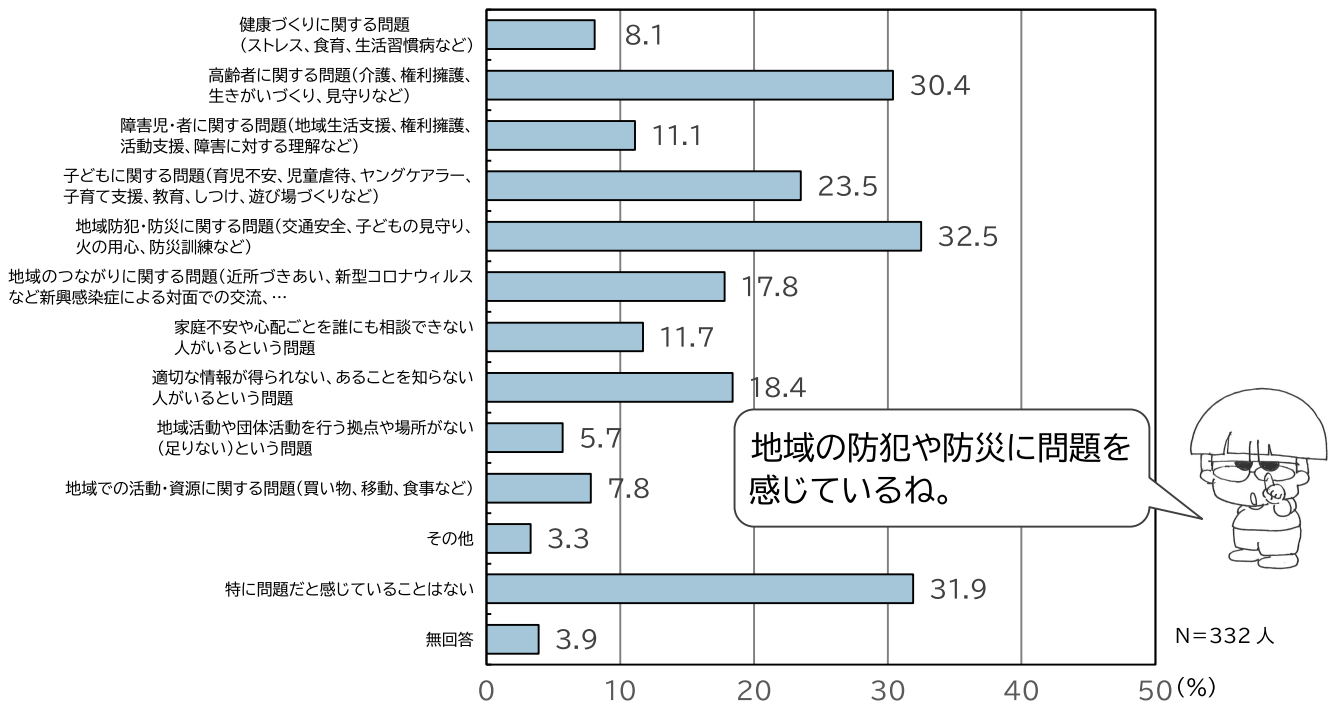
助け合いができる「地域」の範囲をどの程度だと考えていますか



助け合いができる地域の範囲については、「町内会・自治会程度」が 39.5%で最も高く、次いで「隣近所程度」が 38.0%で、全体の8割近くを占めています。

Q4 地域で問題になっていることってどんなこと？

「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか(複数回答)

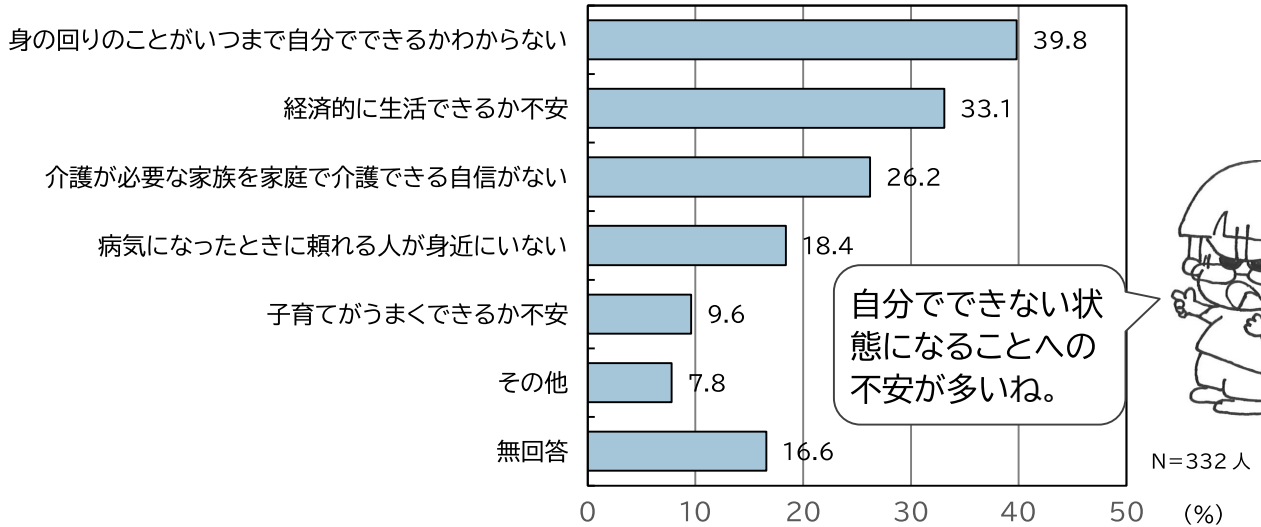


地域で問題になっていることについては、「地域防犯・防災に関する問題(交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など)」が 32.5%で最も高く、次いで「特に問題だと感じていることはない」が 31.9%となっています。

■ いつまでも安心して暮らすために

Q5 家庭生活の中で不安を感じることはどんなこと？

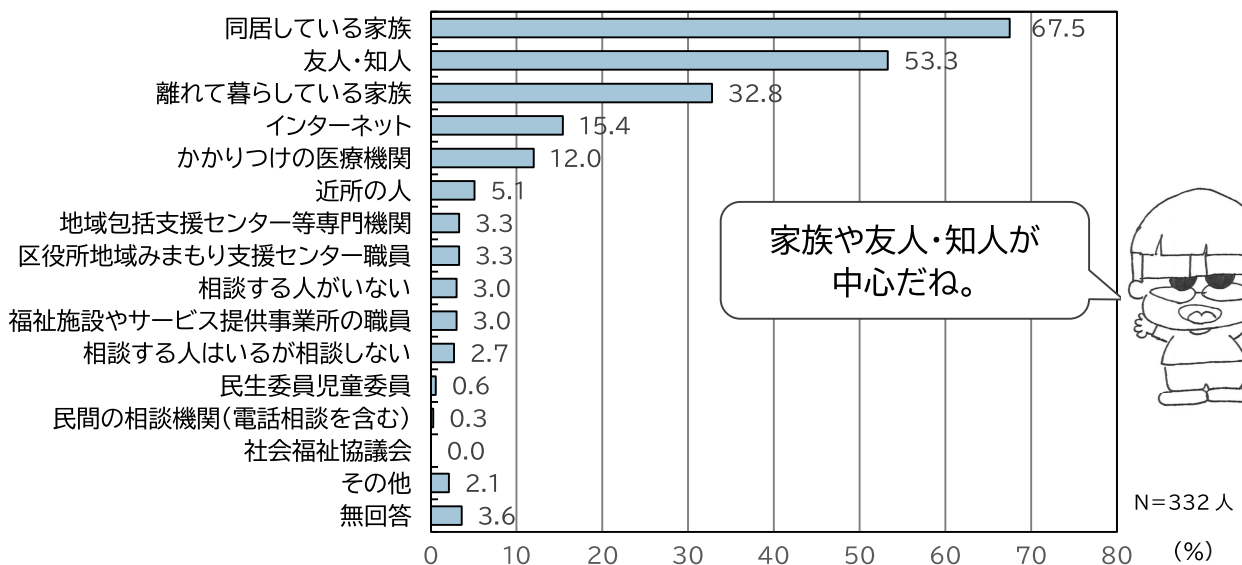
家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか(複数回答)



「身の回りのことがいつまで自分でできるかわからない」が 39.8%と最も高い結果となりました。次いで、「経済的に生活できるか不安」が 33.1%、「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」が 26.2%、「病気になったときに頼れる人が身近にいない」が 18.4%と続いています。

Q6 生活での心配ごとや悩みごとを相談する人は誰？

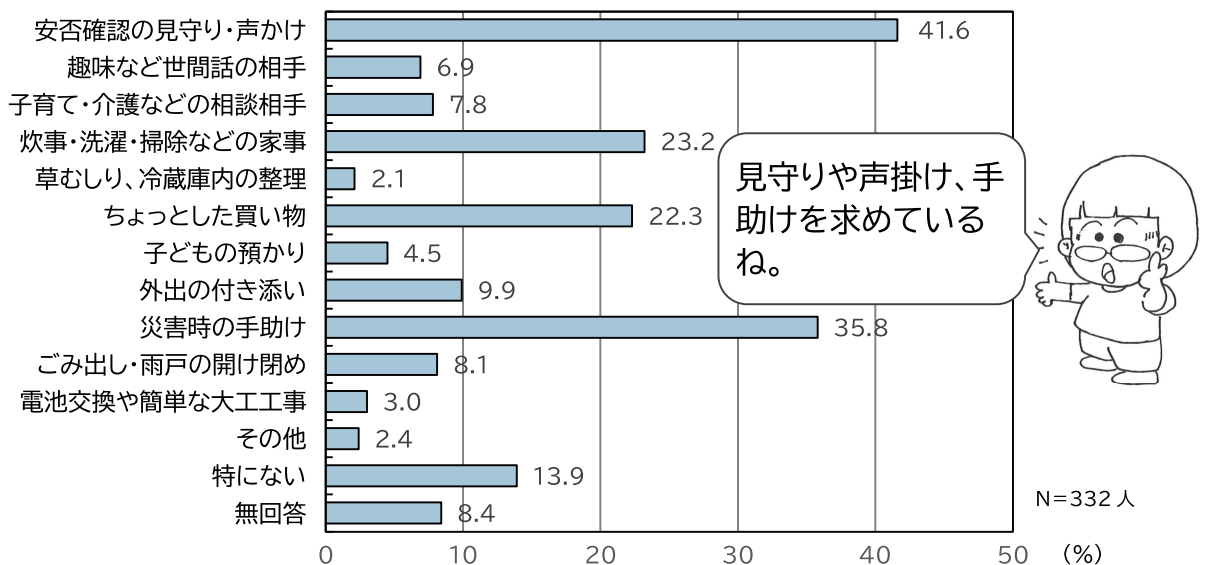
日常生活で心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談していますか(複数回答)



心配ごとや悩みごとがある時の相談相手は、「同居している家族」が 67.5%と最も高い結果となりました。次いで、「友人・知人」が 53.3%、「離れて暮らしている家族」が 32.8%と続いています。

Q7 どんな手助けを地域の人に求めたい？

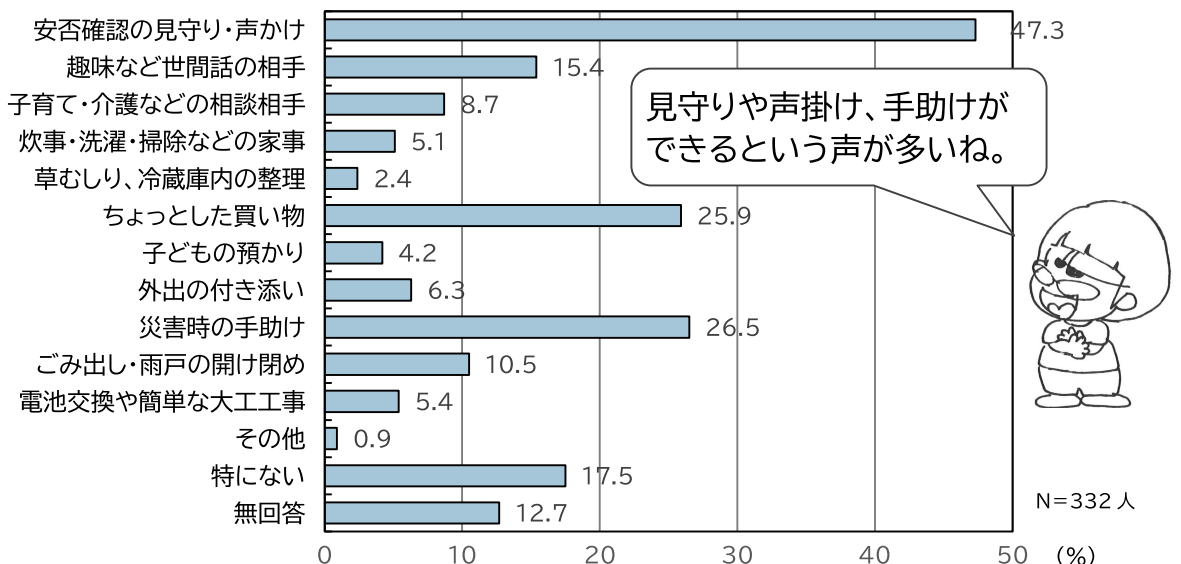
地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか(複数回答)



地域の人に手助けしてほしいことは、「安否確認の見守り・声かけ」が 41.6%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が 35.8%、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 23.2%となっています。

Q8 自分ができることってなんですか？

地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか(複数回答)

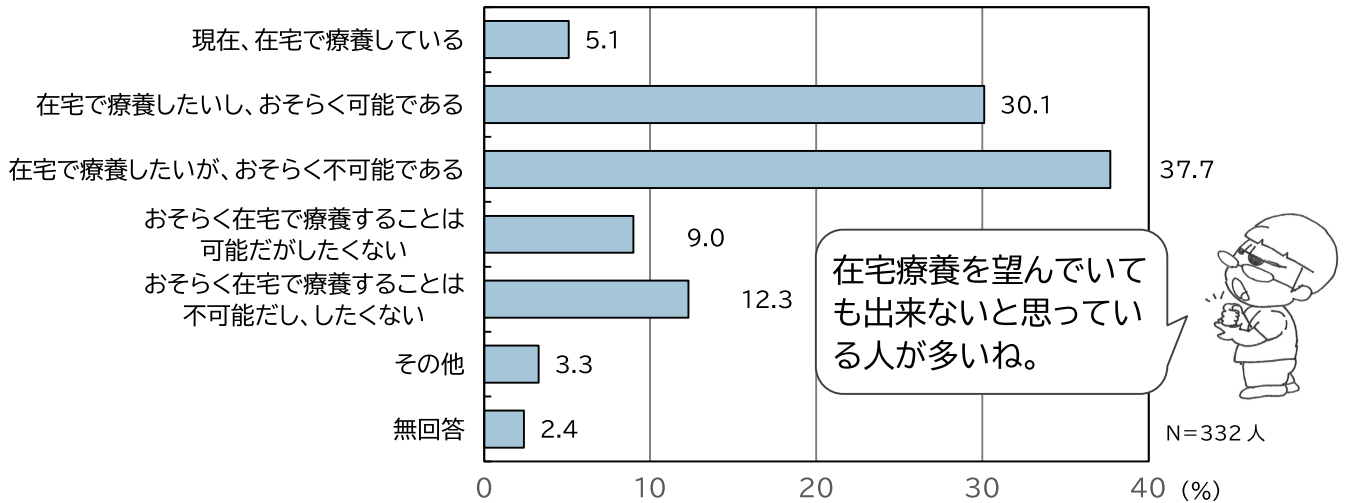


地域の人に手助けできることは、「安否確認の見守り・声かけ」が 47.3%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が 26.5%、「ちょっとした買い物」が 25.9%となっています。

■ 人生の最終段階を考える

Q9 療養生活を在宅で過ごすことについてどう思う？

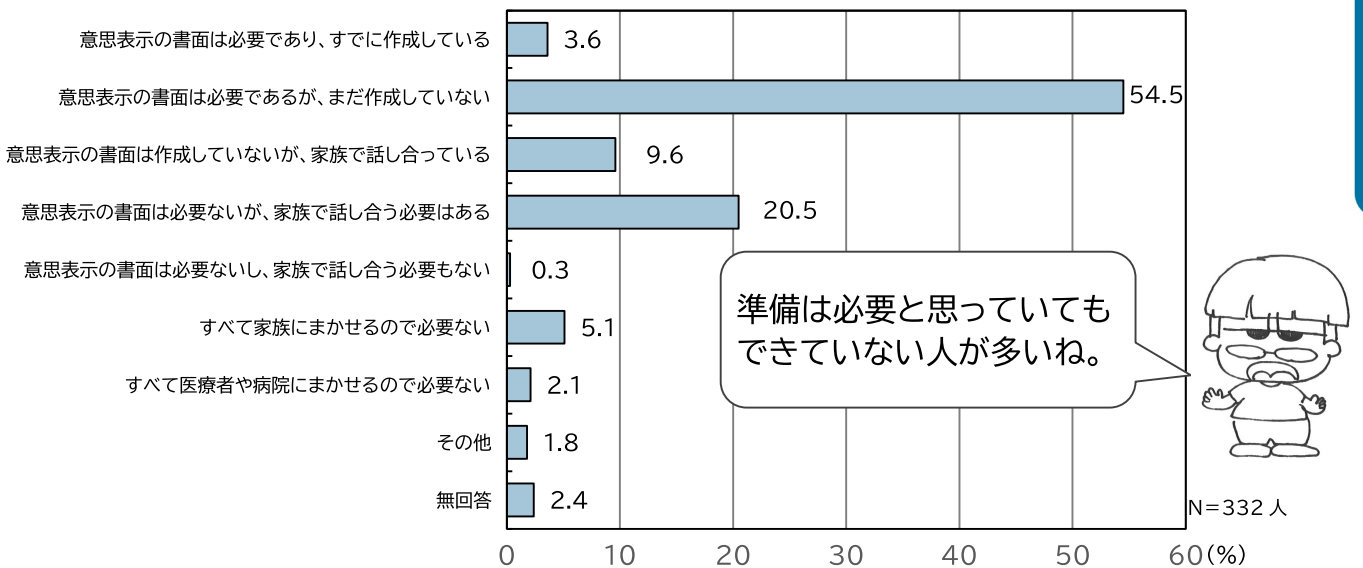
病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか



「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」が 37.7%と最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」が 30.1%となっています。

Q10 終末期についての話し合いはどのようにする？

意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか



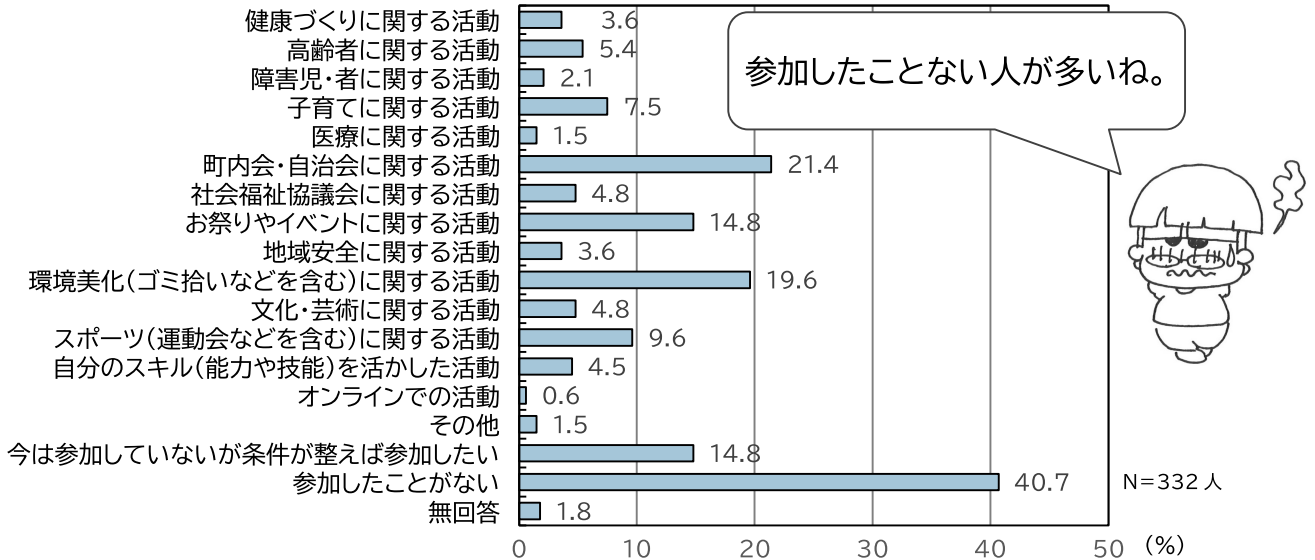
終末期の話し合いについては、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」が 54.5%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」が 20.5%となっています。

たまくの福祉を調べる

■ 地域で活動に参加すること

Q11 地域活動やボランティア活動への経験は？

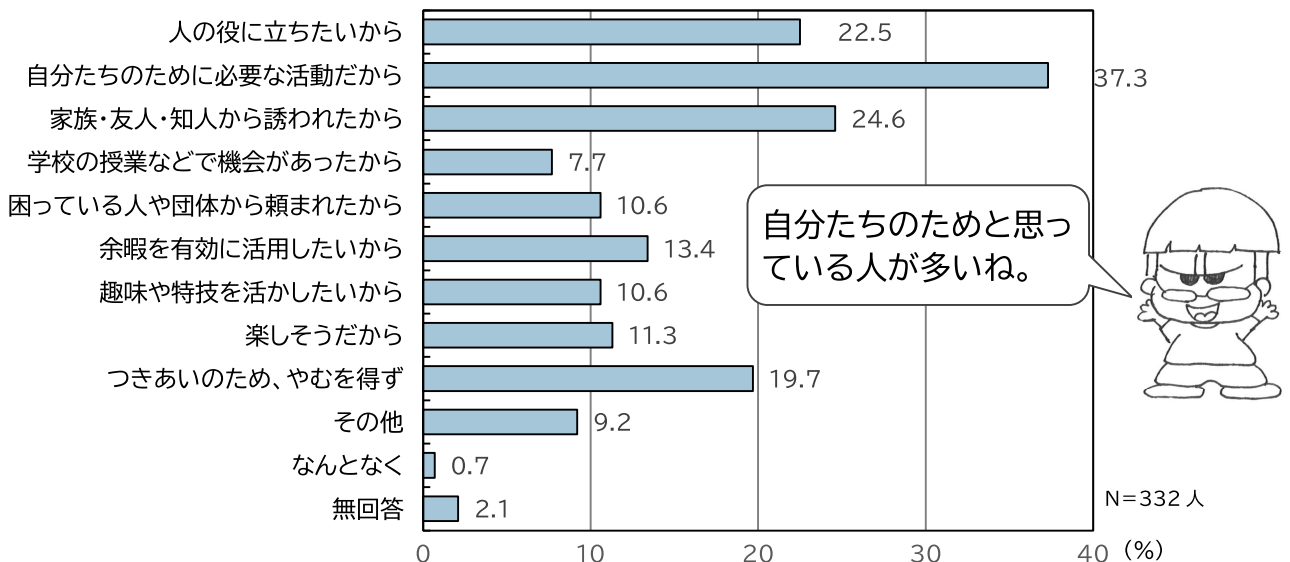
地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか(複数回答)



地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことない」が 40.7%と最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」が 21.4%、「環境美化(ゴミ拾いなどを含む)に関する活動」が 19.6%となっています。

Q12 地域活動やボランティア活動への参加する動機ってどんなこと？

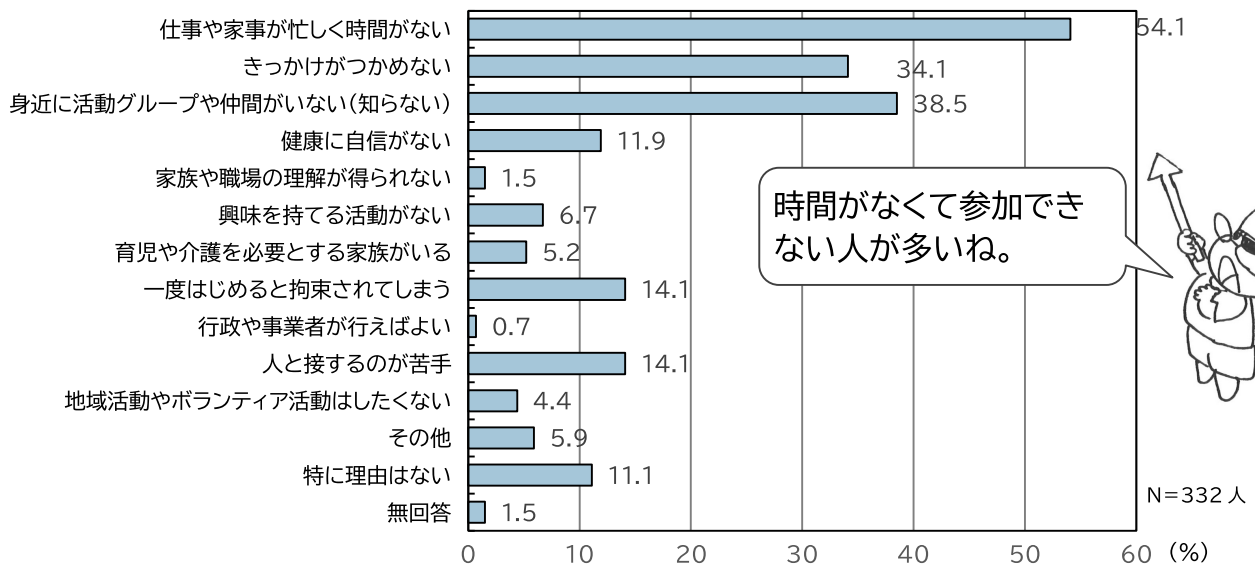
活動に参加した動機やきっかけは何ですか(複数回答)



地域活動やボランティア活動に参加した動機は、「自分たちのために必要な活動だから」が 37.3%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」が 24.6%、「人の役に立ちたいから」が 22.5%となっています。

Q13 なぜ参加しない・できないのだろうか？

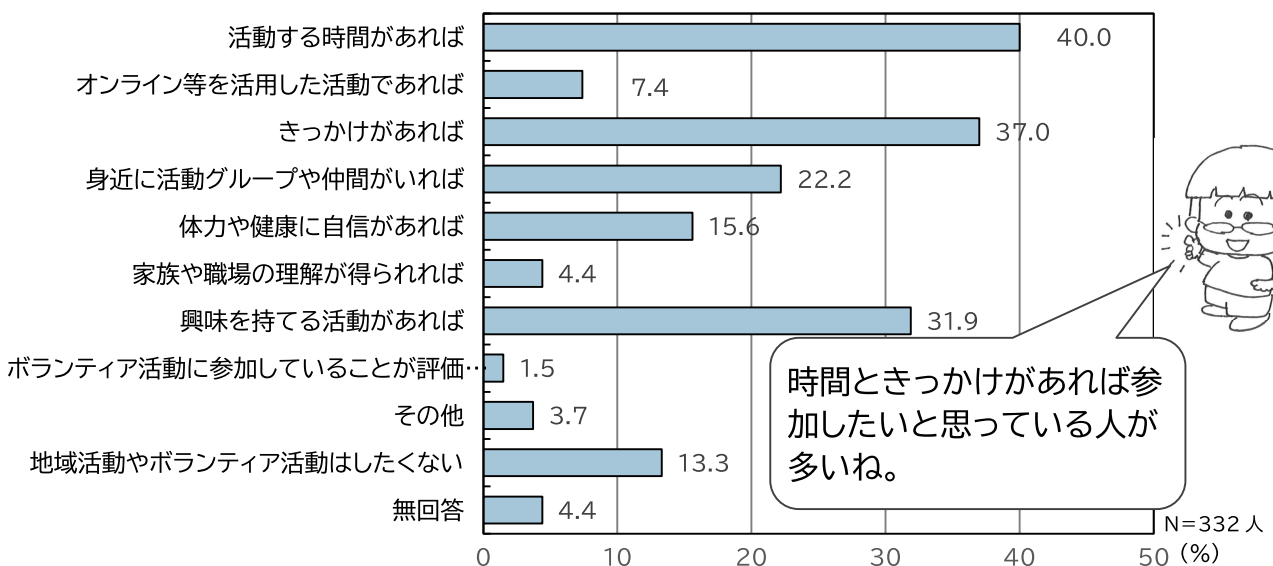
活動に参加しない理由は何ですか(複数回答)



地域活動やボランティア活動に参加しない理由は、「仕事や家事が忙しく時間がない」が54.1%と半数を超え、次いで「身近に活動グループや仲間がない(知らない)」が38.5%、「きっかけがつかめない」が34.1%となっています。

Q14 どのような状況になれば参加したいと思うのだろうか？

どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか(複数回答)

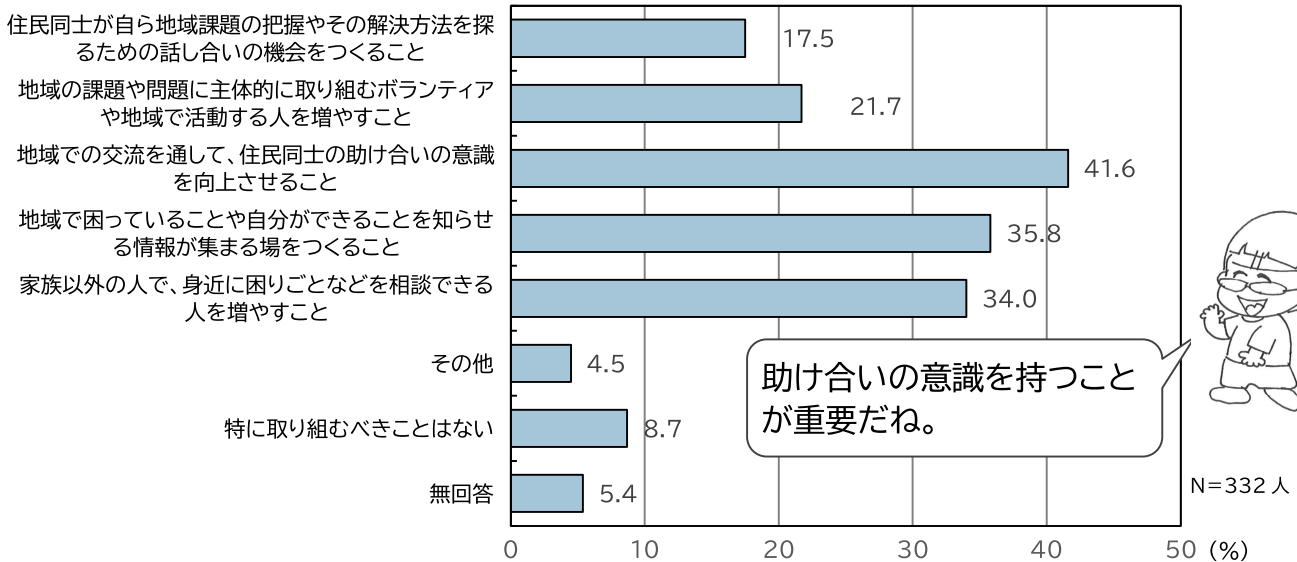


地域活動やボランティア活動に参加したいと思う状況は、「活動する時間があれば」が40.0%で最も高く、次いで「きっかけがあれば」が37.0%、「興味を持てる活動があれば」が31.9%となっています。

■ 地域福祉の推進について

Q15 市民が取り組むべきことってどんなこと？

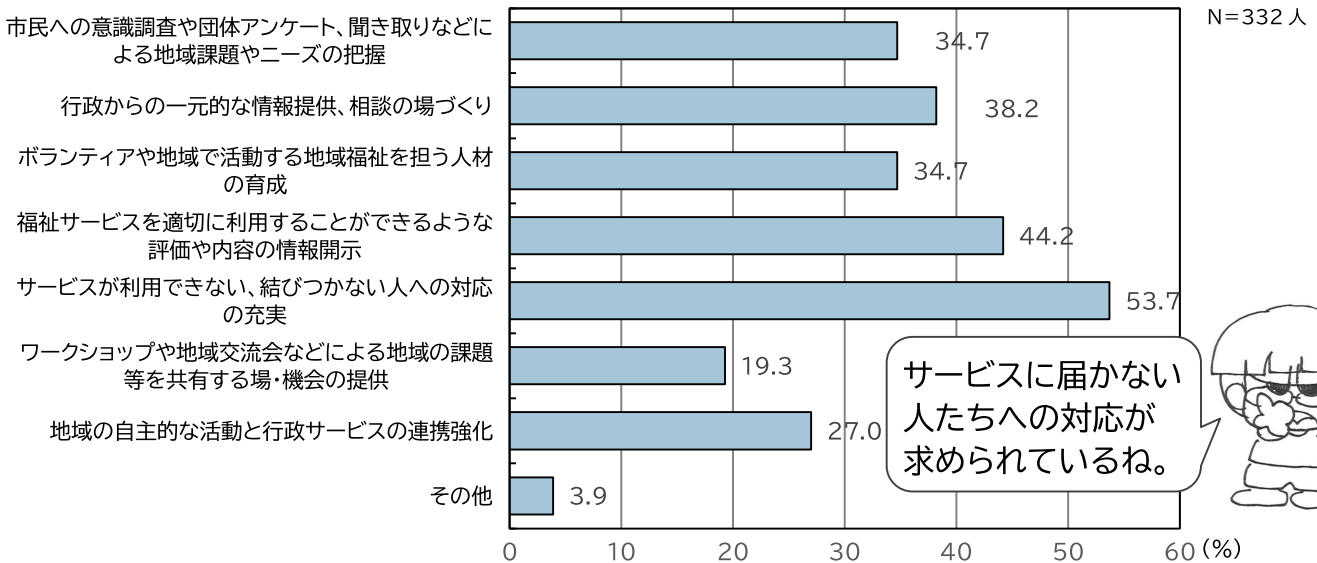
地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきことは何だと思いますか(複数回答)



地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきことは、「地域での交流を通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」が 41.6%と最も高く、次いで「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」が 35.8%となっています。

Q16 行政が取り組むべきことってどんなこと？

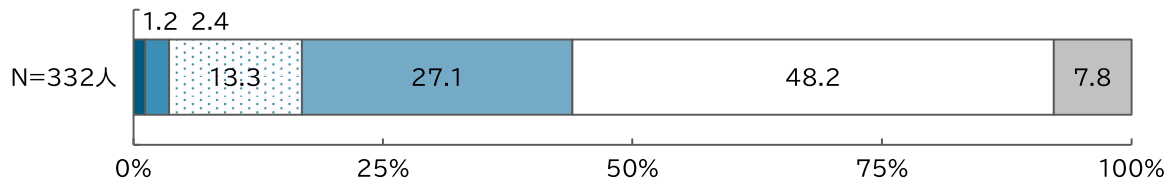
地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきことは何だと思いますか(複数回答)



地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきことは、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」が 53.7%と最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」が 44.2%となっています。

Q17 地域包括ケアシステムのことを知っている？

「地域包括ケアシステム」をどの程度、理解されていますか

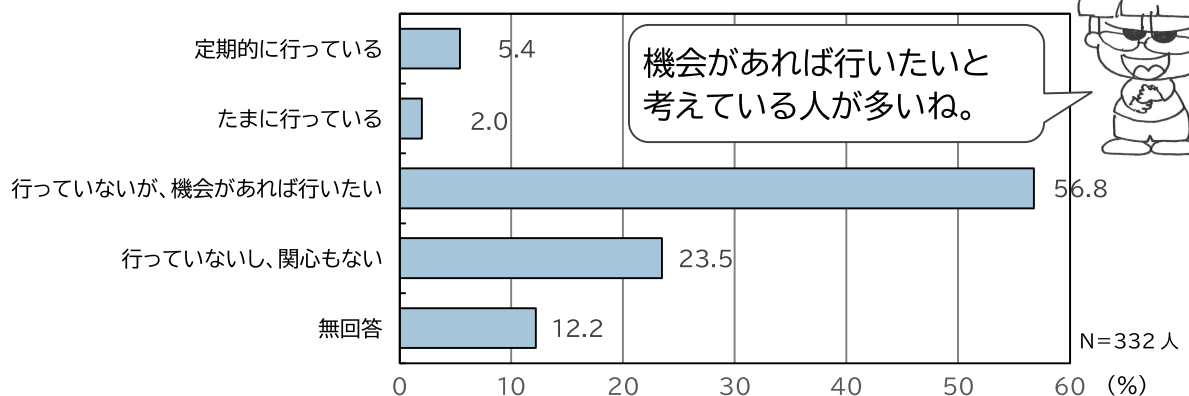


- 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している
- 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っているが、具体的に行動していない
- 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
- 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
- 地域包括ケアシステムを聞いたことがない
- 無回答

「地域包括ケアシステム」の理解度をみると、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」が 48.2%と約半数、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」が 27.1%となっています。

Q18 近所の方との交流や地域活動に参加していますか？

近隣住民との交流や様々な地域活動に関わっていますか



地域活動への関わりを見ると、「行っていないが機会があれば行いたい」が 56.8%と最も高く、次いで「行っていないし、関心もない」が 23.5%となっています。

基本理念

多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

基本目標1

区民一人ひとりが
参加する地域づくり重点
項目基本
方針
1

情報提供の拡充

基本
方針
2

地域で活躍する人材の育成

基本
方針
3

地域活動への支援

基本目標2

多世代交流で
つながる地域づくり重点
項目基本
方針
1

身近な地域での交流の促進

基本
方針
2

地域の支え合い活動の推進

基本目標3

見守り・支え合いの
ネットワークづくり重点
項目基本
方針
1

支援につながる仕組みづくり

基本
方針
2

区民・団体・民間・行政の連携